

健康・医療戦略担当大臣賞

多発性硬化症治療薬フィンゴリモド塩酸塩の開発

<受賞者>

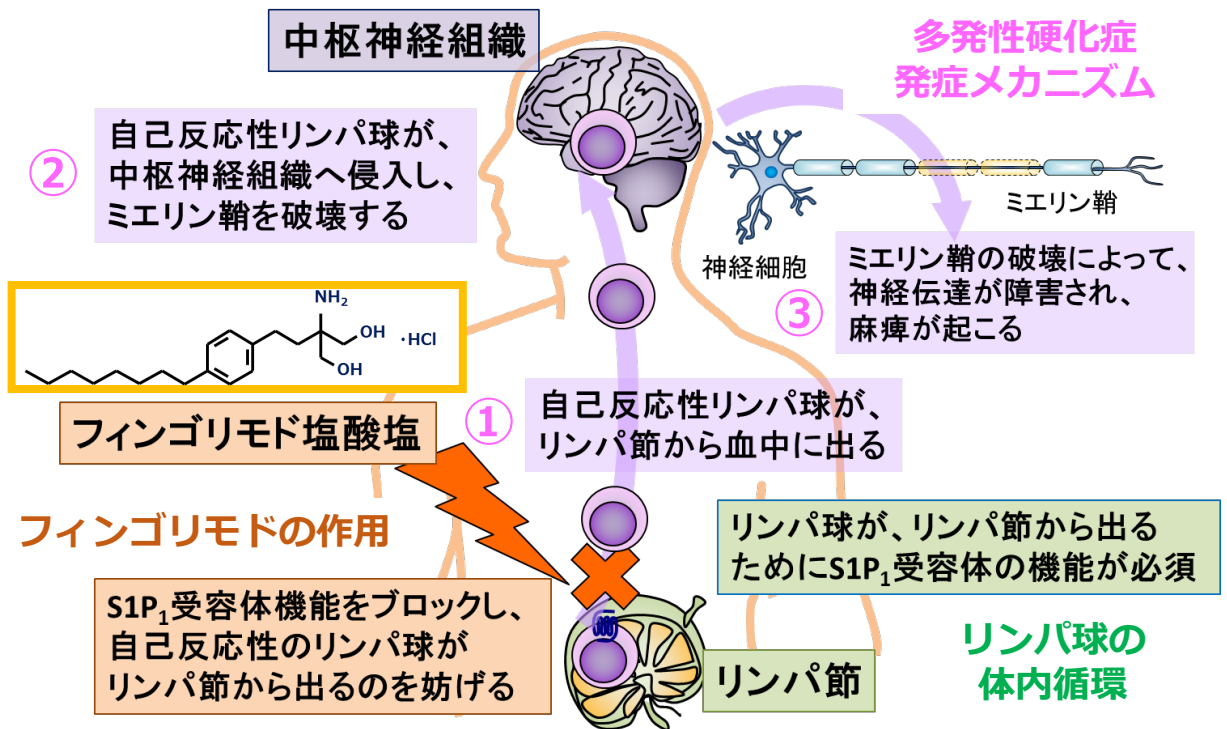
田辺三菱製薬株式会社

DM三井製糖ホールディングス株式会社

<功績>

冬虫夏草（生薬）を元に日本発・世界初の多発性硬化症^{*3}の経口治療薬を開発^{*4}し、ブロックバスターとして世界中で約20万人の患者の治療に貢献した。

(*3: 神経系に炎症を起こす自己免疫疾患、 *4: 故藤多哲郎京都大学名誉教授との共同研究の成果)



フィンゴリモドによる多発性硬化症治療メカニズム

<概要>

- 多発性硬化症とは、本来は病原体を攻撃するリンパ球が自分自身の神経系（脳や脊髄などの神経線維を包むミエリン鞘）を攻撃し炎症を引き起こす疾患。
- 本治療薬フィンゴリモド塩酸塩はリンパ球の体内循環を制御することで、神経系の破壊を抑制（受賞のポイントである新規作用機序）し、既存治療薬（インターフェロン(IFN)-β注射剤）よりも優れた再発抑制効果を発揮する。
- また経口薬であることから、患者や医療現場における利便性も向上させた。